麻酔科

副病院長　齋藤重行

診療体制と患者構成

診療科スタッフ

齋藤重行：副病院長
飯嶋千裕：ペインクリニック科長
藤倉あい：麻酔科科長
櫻井洋志：麻酔科科長
清水梨華：麻酔科医師
折居美波：麻酔科医師
猪股伸一：ペインクリニック（非常勤）

指導医・専門医・認定医等

齋藤重行：日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医、日本ペインクリニック学会指導医
飯嶋千裕：日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医
藤倉あい：日本麻酔科学会指導医・麻酔科標榜医
櫻井洋志：日本麻酔科学会専門医・麻酔科標榜医
折居美波：麻酔科標榜医
清水梨華：麻酔科標榜医、日本医師会認定産業医

外来診療実績

安全な麻酔管理を行う上で、当院での手術麻酔の要求に対して、全てにおいて麻酔科管理としている。

術前外来として、手術決定後入院前に適宜麻酔科外来で診察の上麻酔の説明・同意を頂いている。

ペインクリニック外来、救急診療担当として救急車対応・重症患者管理に参加している。

救急診療を補完するために、外来・重症棟での診療を行っている。

今年度は、新型コロナの影響で、手術室入室前のPCRを必須として検査を徹底し、手術室内でクラスター発生を予防することができた。

入院診療実績

ペインクリニック　高周波熱凝固等を行う場合に入院して行っている。

他診療科の依頼に応じ、中心静脈確保をおこなっている。

病棟の疼痛管理を行っている。

診療科紹介（概要）

当院で手術を行う予定の場合に、手術決定後に、入院前に全身を診察することで安全に手術を受けられるかを判断し、リスクを含めた説明を患者と共に話し、納得して頂いた上で同意をもって手術に臨んで頂いている。

チーム医療を推進しており、周手術期管理看護師の指導のもと詳細な説明で安全確保と不安の軽減に努めている。

麻酔科として、より速やかに回復できるように様々な工夫を行っている。

手術を受ける方の不安の主なものは痛みであり、全身麻酔では再び目が覚めないのではというものがある。麻酔管理は麻酔専門医が循環・呼吸・神経・代謝の全てをモニターししっかり管理している。

最新の手術情報システムを導入し、チーム医療を推進すべく、医師・看護師・ME・コメディカルとの連携を行っている。

痛みのコントロールに対して、手術に応じて、様々なブロック療法や持続投与等でマルチモーダル鎮痛法を使用している。

患者自身が痛みを評価して痛み止めを投与できるPCAポンプを積極的に使用して、満足できる鎮痛を目指している。

病棟や外来では、他診療科の依頼に応じ、中心静脈確保、呼吸管理、鎮痛に関し積極的に関与している。

外来診療として、ペインクリニック外来を　週３日担当しており、主に治療困難な痛みに対して専門的な治療を行っている。

診療する主な疾患

ペインクリニックでの診療対象

・帯状疱疹の急性期の神経痛､帯状疱疹後神経痛（帯状疱疹の皮疹が治癒した後も残る神経痛）
・三叉神経痛、非定型顔面痛等の顔の痛み
・慢性の腰下肢痛
・複合性局所疼痛症候群１型（反射性交感神経性萎縮症）、同２型（カウザルギー）
・手術後疼痛症候群（乳房切除術や開胸手術等の手術後に生じる慢性の痛み）
・病棟において、癌性疼痛への介入
・下肢等の血行障害に対する交感神経ブロック療法

高周波熱凝固治療による神経ブロックを導入し、従来アルコールやフェノールを用いた永久ブロックに代わり、副作用の少ない良好な鎮痛効果を得られつつある。

手術麻酔では、エコーガイド下ブロック療法を積極的に使用し効果的な鎮痛を得られるようにしている。

血管確保が必要で困難な患者に中心静脈カテーテルを他科依頼で挿入している。

麻酔管理は小児から高齢者まで、安全とリスクを十分に把握し最善の麻酔管理を行うよう努力している。

手術・検査実績報告

手術実績

2021年麻酔科管理症例　麻酔学会申請上の麻酔方法

【合計】

麻酔科管理症例数	2338

【麻酔法分類】

A.　全身麻酔（吸入）	1395
B.　全身麻酔（TIVA）	9
C.　全身麻酔（吸入）＋硬・脊、伝麻	712
D.　全身麻酔（TIVA）＋硬・脊、伝麻	0
E.　脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔（CSEA）	72
F.　硬膜外麻酔	26
G.　脊髄くも膜下麻酔	120
H.　伝達麻酔	3
X.　その他	1
合計	2338

【手術部位分類】

10.　開頭	0
15.　開胸	1
20.　心臓・大血管	0
25.　開胸＋開腹	5
30.　開腹（除：帝王切開）	619
35.　帝王切開	81
40.　頭頸部・咽喉頭	445
45.　胸壁・腹壁・会陰	306
50.脊椎	318
55.　四肢（含：末梢血管）	518
99.　その他	45
合計	2338

【経験必要症例分類】

10.　胸部外科	0
15.　脳神経外科	0
20.　心臓血管外科（１群）	0
21.　心臓血管外科（２群）	0
25.　帝王切開	47
30.　小児（６歳未満）	4
合計	51

手術室での神経ブロック

105例